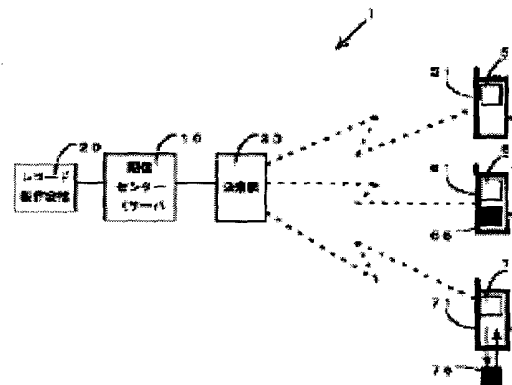


**PORTABLE TYPE MUSIC SELECTION/VIEWING SYSTEM****Patent number:** JP11164058**Publication date:** 1999-06-18**Inventor:** SATO NOBORU; YAMAGISHI NORIKAZU; TAKESADA MUTSUHARU; IWASAKI MINA**Applicant:** HITACHI ELECTRON SERVICE CO LTD**Classification:****- international:** H04M11/08; H04B7/24; H04M3/42**- european:****Application number:** JP19970324660 19971126**Priority number(s):****Abstract of JP11164058**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a system for offering a music software selected by a user while utilizing a mobile phone.

**SOLUTION:** A distribution center 10 having a server function receives provision of a music software from a record production company 20. A portable type music selection/viewing equipment 50 connected through a public line network 30 to the distribution center 10 has a main body 51 having a button input part, a display 52 provided on the main body 51 and receiver 54 for music, requests the music software selected by the user to the distribution center, and outputs the sounds of the received music software to the receiver 54 and outputs the lyrics or the like onto the display 52.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-164058

(43) 公開日 平成11年(1999) 6月18日

(51) Int.Cl.<sup>8</sup>

識別記号

F I

H 0 4 M 11/08

H 0 4 M 11/08

H 0 4 B 7/24

H 0 4 B 7/24

C

H 0 4 M 3/42

H 0 4 M 3/42

Z

審査請求 有 請求項の数 4 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平9-324660

(22) 出願日 平成9年(1997)11月26日

(71) 出願人 000233491

日立電子サービス株式会社

神奈川県横浜市戸塚区品濃町504番地2

(72) 発明者 佐藤 登

神奈川県横浜市戸塚区品濃町504番地2

日立電子サービス株式会社内

(72) 発明者 山岸 令和

神奈川県横浜市戸塚区品濃町504番地2

日立電子サービス株式会社内

(72) 発明者 武貞 睦治

神奈川県横浜市戸塚区品濃町504番地2

日立電子サービス株式会社内

(74) 代理人 弁理士 沼形 義彰 (外3名)

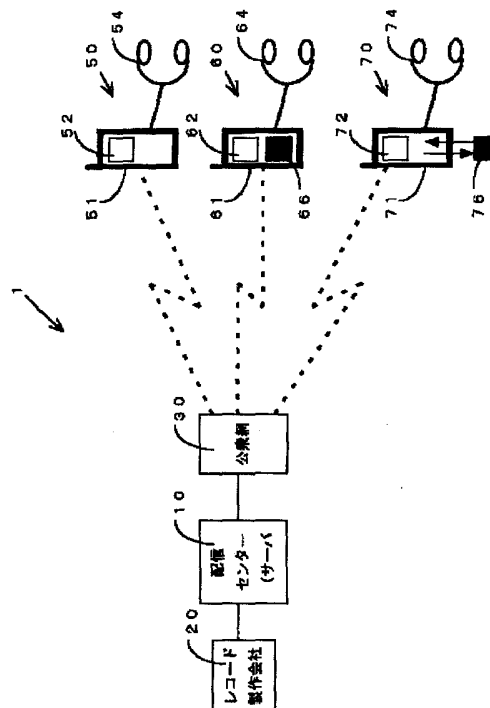
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 携帯型音楽選曲視聴システム

(57) 【要約】

【課題】 携帯電話機を利用してユーザが選曲する音楽のソフトを提供するシステムを提供する。

【解決手段】 サーバ機能を有する配信センター10は、レコード製作会社20から音楽ソフトの提供を受ける。配信センター10に対して公衆回線網30を介して接続される携帯用音楽選曲視聴機50は、ボタン入力部を有する本体51と、本体51に設けられるディスプレイ52と、音楽用レシーバ54を有し、ユーザが選曲して音楽ソフトを配信センターに要求し、受信した音楽ソフトの音声をレシーバ54に出力するとともに、歌詞等をディスプレイ52に出力する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 音楽ソフトを製作するレコード会社と、レコード会社から音楽の提供を受けるサーバー機能を有する配信センターと、公衆回線網を介して配信センターに接続される携帯型音楽選曲視聴機とを備え、携帯型音楽選曲視聴機は、入力された選曲情報を公衆回線網を介して配信センターに伝達し、配信センターから送られてくる音楽ソフトを音声と文字情報として出力する手段を備える携帯型音楽選曲視聴システム。

【請求項2】 携帯型音楽選曲視聴機は、電源部と、総合制御部と、電話番号登録用記憶部と、ボタン入力部と、ディスプレイ表示部と、送話・受話制御部と、送話器および受話器と、電波送受信制御部と、アンテナと、音楽用制御部と、音楽用増幅部と、音楽用レシーバを備える請求項1記載の携帯型音楽選曲視聴システム。

【請求項3】 携帯型音楽選曲視聴機は、受信した音楽ソフトを記憶する音楽用記憶部を備える請求項2記載の携帯型音楽選曲視聴システム。

【請求項4】 携帯型音楽選曲視聴機は、音楽ソフトを記憶する着脱自在の音楽用記憶媒体を備える請求項2および請求項3記載の携帯型音楽選曲視聴システム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、携帯型の電話機を用いた音楽の配信システムに関する。

## 【0002】

【従来の技術】例えば、携帯型のラジオやテレビを利用して、地上局やサテライトからの放送電波を受信して音楽ソフトを楽しむことができる。この放送電波の受信は、放送局からの一方通行のサービスであって、ユーザが選曲することはできない。また、通信カラオケシステム等にあつては、有線回線を利用してユーザが選曲した音楽をセンターに要求し、サービスを受けることができる。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】携帯型の電話システムの普及に伴い、ユーザに対して電話サービスの他にも各種のサービスを提供することが可能となっている。本発明は、無線の公衆回線網を利用する音楽選曲視聴システムを提供するものである。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】本発明の音楽選曲視聴システムは、基本的な手段として、音楽ソフトを製作するレコード会社と、レコード会社から音楽の提供を受けるサーバー機能を有する配信センターと、公衆回線網を介して配信センターに接続される携帯型音楽選曲視聴機とを備える。そして、携帯型音楽選曲視聴機は、入力された選曲情報を公衆回線網を介して配信センターに伝達し、配信センターから送られてくる音楽ソフトを音声と文字情報として出力する手段を備えるものである。ま

た、携帯型音楽選曲視聴機は、具体的な手段として、電源部と、総合制御部と、電話番号登録用記憶部と、ボタン入力部と、ディスプレイ表示部と、送話・受話制御部と、送話器および受話器と、電波送受信制御部と、アンテナと、音楽用制御部と、音楽用増幅部と、音楽用レシーバを備える。さらに、携帯型音楽選曲視聴機は、受信した音楽ソフトを記憶する音楽用記憶部を備えるか、または、音楽ソフトを記憶する着脱自在の音楽用記憶媒体を備えることができる。

## 【0005】

【発明の実施の形態】図1は、本発明の携帯型音楽選曲視聴システムの全体構成図である。全体を符号1で示すシステムは、サーバーである配信センター10を有し、配信センター10はレコード製作会社20から音楽コンテンツの供給を受ける。この配信センター10に対して、公衆回線網30を介して携帯型音楽選曲視聴機50、60、70が接続される。

【0006】携帯型音楽選曲視聴機50は、例えば携帯電話機と同様の構造を有し、本体51に必要なプッシュボタン等と、ディスプレイ52を装備する。本体51に対してはレシーバ54が接続される。携帯型音楽選曲視聴機50を有するユーザは、本体51上のプッシュボタン等を操作して公衆回線網30を経由して配信センター10を呼び出し、希望する音楽ソフトを公衆回線網30を介して受信する。受信した音楽ソフトは、携帯型音楽選曲視聴機50の本体51内に装備されたアンプで増幅され、レシーバ54に出力される。

【0007】レシーバ54を装着したユーザは、音楽を楽しむとともに、必要に応じてディスプレイ52に歌詞を表示して、カラオケとしても楽しむことができる。この携帯型音楽選曲視聴機50は、メモリ機能等を備えない簡素化されたものであって、回線接続中のみ音楽の供給を受けることができる。

【0008】携帯型音楽選曲視聴機60は、本体61内に記憶装置66を内蔵するモデルを示す。このモデルの携帯型音楽選曲視聴機60にあつては、本体61のプッシュボタン等を操作して配信センター10を呼び出して、供給を受けた音楽ソフトは、レシーバ64とディスプレイ62に出力されるとともに、記憶装置66により記憶される。したがって、ユーザは公衆回線30の接続を遮断した後にも、記憶装置66内の音楽ソフトを再生させて楽しむことができる。

【0009】携帯型音楽選曲視聴機70は、本体71に対して着脱可能な記憶装置76を備える。この記憶装置76は、例えば磁気カード、磁気テープ、CD、DVD、ICカードのようなメモリカードである。ユーザは、本体71のプッシュボタン等を操作して、携帯型音楽選曲視聴機70の記憶装置（媒体）76に音楽ソフトをダウンロードすると、この音楽ソフトを携帯型音楽選曲視聴機70のディスプレイ72やレシーバ74で楽し

むことができるとともに、この記憶装置（媒体）を抜き出して、他のオーディオユニットに挿入し、より高品質な再生音楽を楽しむことができる。また、他のオーディオユニットで記憶装置76内に音楽ソフトを記憶させ、この記憶装置76を、この携帯型音楽選曲視聴機70に挿入して音楽を楽しむこともできる。

【0010】図2は、携帯電話の機能を有する本発明の携帯型音楽選曲視聴機の構成図である。全体を符号100で示す携帯型音楽選曲視聴機は、電源部130に接続される総合制御部110を有し、総合制御部110は電話番号登録用記憶部120が接続される。ユーザが操作するボタン入力部182を有するボタン入力制御部180は、総合制御部110に信号を送り、総合制御部110は、ディスプレイ制御部160を介してディスプレイ表示部162に操作内容を表示するとともに、電波送受信制御部140、アンテナ150を介して公衆回線網にアクセスする。ユーザが相手の電話を呼び出すのであれば、交換機は相手電話を呼び出し、送話・受話制御部170に接続される送話器174と受話器172を用いてユーザは相手と通話することができる。

【0011】音楽用制御部200は、総合制御部110、電源部130、電波送受信制御部140、ボタン入力制御部180、ディスプレイ制御部160に接続される。ユーザは、ボタン入力部182を操作して配信センターを呼び出す指令を出力すると、その内容はディスプレイ表示部162に表示されるとともに、電波送受信制御部140は、アンテナ150を介して公衆回線網を経由して配信センターにアクセスする。

【0012】配信センターにアクセスができると、ユーザは選曲を指令し、配信センターは選曲された音楽ソフトを送り返す。この音楽ソフトを受信した音楽用制御部200は、音楽用増幅部で信号を増幅し、レシーバジャック220に差し込まれる音楽用レシーバ230に音声出力する。この音声出力は、受話器172へも出力することができる。歌詞等の情報は、ディスプレイ表示部162に表示される。

【0013】音楽用制御部200に接続される音楽用記

憶部240は、音楽ソフトを記憶する。磁気カード、磁気テープ、CD、DVD、ICカードのようなメモリカードのような音楽用記憶媒体250は、音楽ソフトを記憶するとともに、この記憶媒体250を取り出して、他のオーディオユニット等で使用することもできる。

【0014】図3は、本発明のシステムによる処理のフロー図である。ステップS10では、レコード製作会社20から配信センター10へ、曲・歌詞・画像の登録（変更・削除）を行う。ステップS11では、ユーザは携帯型音楽選曲視聴機のディスプレイとプッシュボタンで、曲名・歌手名・ジャンル・曲名No.・作曲家名等を選択できる。ステップS12は、選曲した曲と歌詞・画像を配信センターからユーザに回線を通して送信する。

【0015】ステップS13は、ユーザのレシーバから音声、ディスプレイに歌詞と画像を表示する。記憶装置付きの場合は記録し、通話終了後も再生可能とする。ステップS14は、配信センターから送信が終了したら課金処理を行う。課金処理についてはNTTのQ2方式に準拠して行う。ステップS15では、記憶装置から再生中に電話着信があったら、割り込みの通知または表示を行なう。

【0016】

【発明の効果】本発明は以上のように、携帯電話機を利用してユーザが選曲した音楽ソフトを楽しむことができるので、公衆回線網の利用も拡大され、サービスも向上するものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の携帯型音楽選曲視聴システムの構成図。

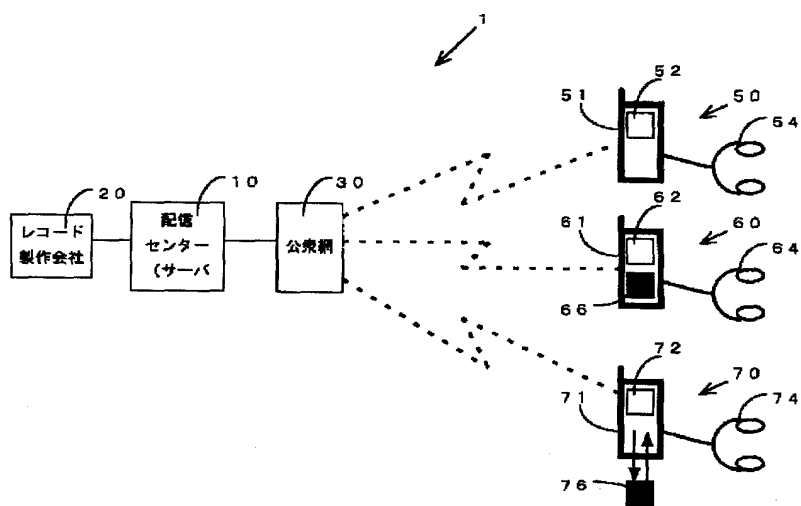
【図2】本発明の携帯用音楽選曲視聴機の構成図。

【図3】本発明の携帯型音楽選曲視聴システムのフロー図。

【符号の説明】

- 10 配信センター
- 20 レコード製作会社
- 30 公衆回線網
- 50, 60, 70 携帯用音楽選曲視聴機

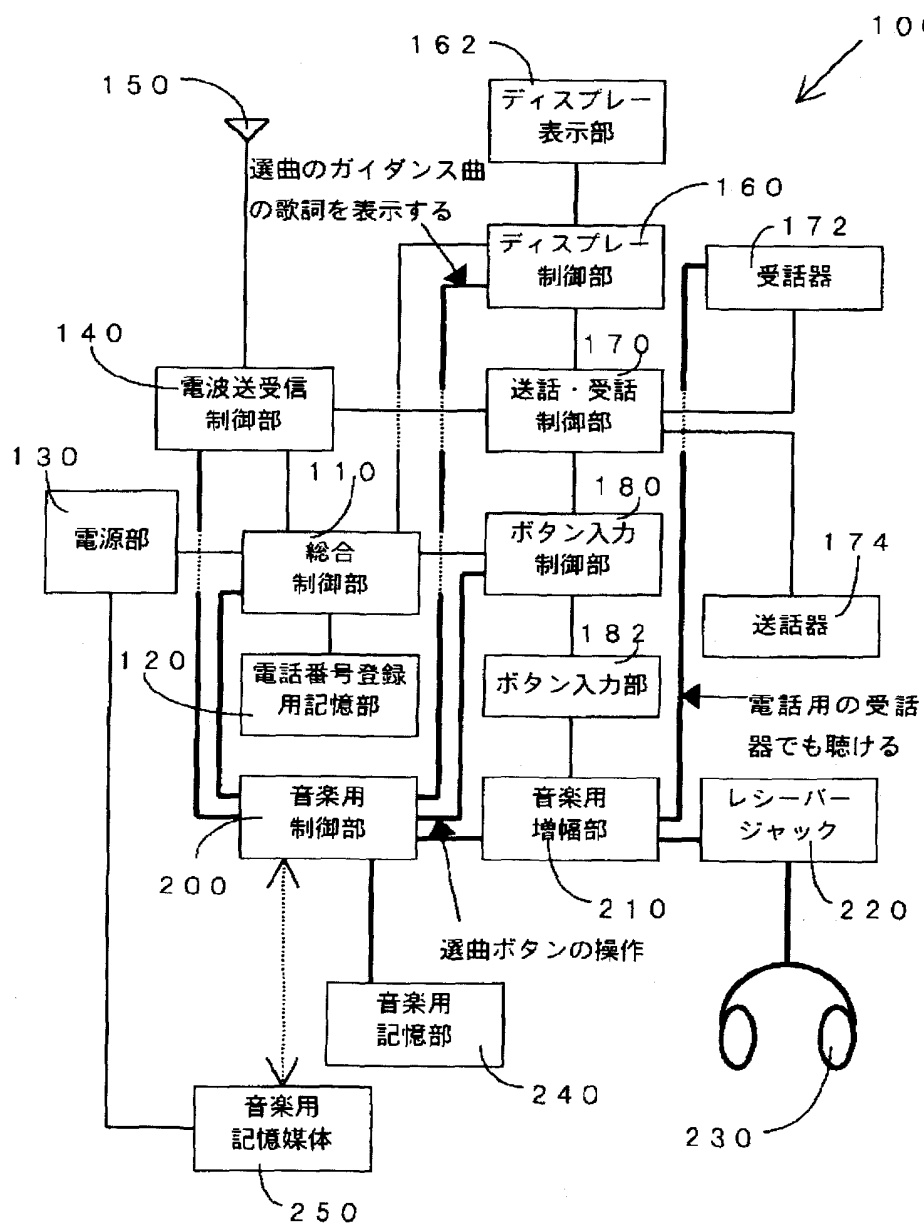
【図1】



【図3】

- S10 レコード制作会社20から配信センター10へ、曲・歌詞・画像の登録(変更・削除)を行う。
- S11 ユーザの携帯型音楽選曲視聴機から配信センターを呼び出し、選曲する。(携帯型音楽選曲視聴機のディスプレイと押しボタンで、曲名・歌手名・ジャンル・曲名No.・作曲家名等を選択できる。)
- S12 選択した曲と歌詞・画像を配信センターからユーザの携帯型音楽選曲視聴機に回線を通して送信する。
- S13 ユーザの携帯型音楽選曲視聴機のレシーバから音声、ディスプレイに歌詞と画像を表示する。記憶装置付きの場合は記録し、通話終了後も再生可能とする。
- S14 配信センターから送信が終了したら課金処理を行う。課金処理についてはNTTのQ2方式に準拠して行う。
- S15 記憶装置から再生中に電話着信があったら、割り込みの通知または表示をする。

【図 2】



フロントページの続き

(72) 発明者 岩崎 美奈  
神奈川県横浜市戸塚区品濃町504番地2  
日立電子サービス株式会社内

Reference No. C28672

Mailing No. 332271

Mailing Date: September 24, 2003

NOTICE OF REASON FOR REJECTION

Patent Application No. 170201/2000

Drafting Date: September 17, 2003

Examiner of Patent Office: Yoshiaki Minami 9381 5C00

Attorneys for Patent Application: Keikou Okabe

Applied Prescription: Article 29, Paragraph 2 of the Patent  
Law

This application should be rejected for the following reason. If you have any opinions about the rejection, you may submit an Argument within 60 days from the mailing date of this Notice.

REASON

The inventions in the following claims of this application could be easily invented prior to the filing of this application on the basis of inventions described in the following publications distributed in Japan or foreign countries before the filing of this application by a person skilled in the art. Therefore, they shall not be patented under the prescription of Article 29, Paragraph 2 of the Patent Law.

# REMARKS

With regard to claim 1

1. Japanese Patent Application Laid-open No. 11-164058  
(Hereafter, referred to as "Reference 1")

With regard to claim 2

1. Reference 1 and
2. Japanese Patent Application Laid-open No. 10-150505  
(Hereafter, referred to as "Reference 2")

Note:

There is no substantial difference between the invention defined by claim 1 and the invention described in Reference 1.

Reference 1 describes a process of "Step 15" at paragraph 0015 and Fig. 13. The process is that an interrupt is noticed or prompt is displayed when call is incoming during reproduction. In comparison between the invention defined by claim 2 and the invention described in Reference 2, the invention defined by claim 2 generates the first music signal in precedent to the generation of the second music signal. The invention described in Reference 2 is different from such an invention of claim 2, in that interrupt is noticed simply when a call is incoming during reproduction of music software (corresponding to the second performance information). In this regard, Reference 2 discloses a



portable telephone set which performs reproduction of music upon reception of call. Consequently, no difficulty is recognized in constituting such an invention as defined by claim 2 where reproduction of music is effected as an interrupt notice of incoming call based on the invention disclosed in Reference 1.

No reason of rejection is found currently for the remaining claims other than the claims mentioned in this notice of reason for rejection. If another reason for rejection is newly found, the reason for rejection will be notified.

-----  
Note of Prior Art Literature Inspection Results

• Field of Inspection: IPC, 7th Edition, G10K15/04, 302

H04M11/08

• Prior Art Literature:

Japanese Patent Application Laid-open No. 11-242490

Japanese Patent Application Laid-open No. 10-173737

Japanese Patent Application Laid-open No. 09-050282

This Note of Prior Art Literature Inspection Results does no constitute any reason for rejection.

整理番号 C 2 8 6 7 2

発送番号 3 3 2 2 7 1 1/

発送日 平成 1 5 年 9 月 2 4 日

## 拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願 2 0 0 0 - 1 7 0 2 0 1
起案日	平成 1 5 年 9 月 1 7 日
特許庁審査官	南 義明 9 3 8 1 5 C 0 0
特許出願人代理人	岡部 恵行 様
適用条文	第 2 9 条第 2 項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から 6 0 日以内に意見書を提出して下さい。

### 理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記 of 刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第 2 9 条第 2 項の規定により特許を受けることができない。

### 記

請求項 1 に対して

1. 特開平 1 1 - 1 6 4 0 5 8 号公報(以下、「引用例 1」という。)

請求項 2 に対して

1. 引用例 1、及び、
2. 特開平 1 0 - 1 5 0 5 0 5 号公報(以下、「引用例 2」という。)

### [備考]

請求項 1 に係る発明と引用例 1 に記載の発明とは格別相違しない。

引用例 1 には、その【0 0 1 5】段落、及び、【図 1 3】のステップ S 1 5 の処理として「再生中に電話着信があったら、割り込みの通知または表示を行う」旨の記載がされている。したがって、請求項 2 に係る発明と引用例 2 に記載の発明とは、請求項 2 に係る発明が「第 2 楽音信号の生成に優先して第 1 楽音信号を生成する」のに対して、引用例 2 に記載の発明では、音楽ソフト（第 2 演奏情報に相当）の再生中に、電話着信があったら、割り込みの通知を行っているとしか記載の無い点で相違している。

ここで、引用例 2 には、電話着信の際、楽曲の再生を行う携帯電話が記載され

整理番号 C 2 8 6 7 2

発送番号 3 3 2 2 7 1 2/E

発送日 平成 1 5 年 9 月 2 4 日

ている。したがって、引用例 1 に記載の発明において、電話着信の割り込み通知として、楽曲の再生を行わせ、請求項 2 に係る発明のよう構成することに困難性はみられない。

この拒絶理由通知書中で指摘した請求項以外の請求項に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

---

先行技術文献調査結果の記録

- ・ 調査した分野      I P C 第 7 版  
                      G 1 0 K 1 5 / 0 4 , 3 0 2  
                      H 0 4 M 1 1 / 0 8
- ・ 先行技術文献  
                      特開平 1 1 - 2 4 2 4 9 0 号公報  
                      特開平 1 0 - 1 7 3 7 3 7 号公報  
                      特開平 0 9 - 0 5 0 2 8 2 号公報

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。